

# 農福連携 × 有機農業

## 農福連携の現場で

有機農業に取り組む事例があります。

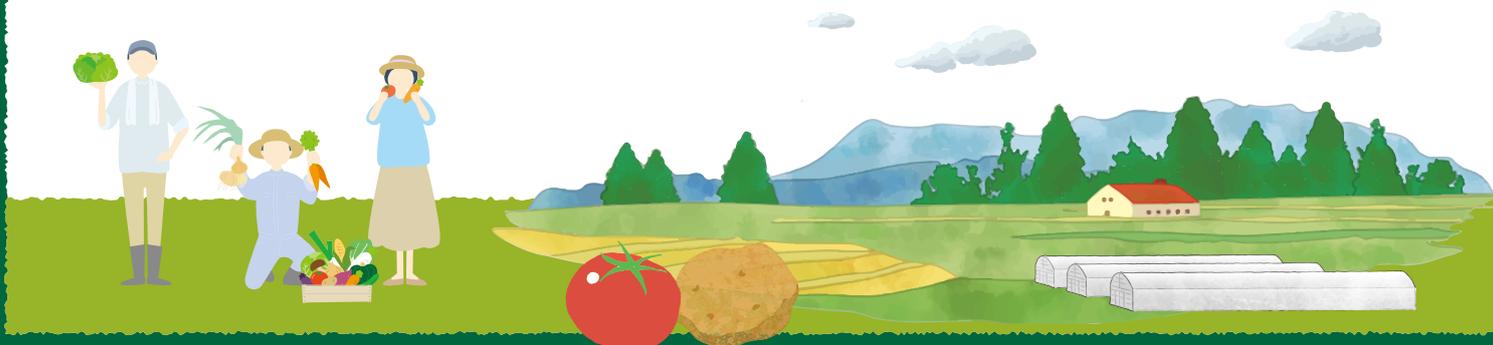
### 農福連携って何？

農業と福祉が連携し、  
障害者の農業分野での  
活躍を通じて、  
**農業経営の発展**  
とともに、  
**障害者の自信や**  
**生きがいを創出し**、  
社会参画を実現する取組です。

### 有機農業って何？

有機農業とは、  
**化学肥料や化学農薬を**  
**原則使わず、**  
**可能な限り環境に配慮した**  
**栽培方法です。**  
土壌環境や生物の多様性など、  
農業生態系を守ることに  
つながります。

作成：一般社団法人日本農福連携協会、株式会社マイファーム 令和8年3月1日発行  
※農林水産省「令和7年度農山漁村振興交付金」を活用して作成



# 株式会社アグリーンハート

## 基本情報

- 所在地：青森県黒石市馬場尻東61-15
- 従業員数：12名（うち生産部9名）
- 経営面積：78ha（有機59ha・減農薬19ha）
- 売上高：5億1,000万円（R7）
- 主な作物：有機栽培米、大豆、アスパラ
- 受賞歴：2018年農水省主催「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」『有機農業・環境保全型農業部門』生産局長賞受賞  
2023年『オーガニックエコフェスタ2023 玄米部門』最優秀賞受賞



## 取組概要

平地でのスマート農業と中山間地での有機農業を組み合わせ、大規模な米生産を展開している。機械化が難しい作業を地域の障害者就労施設に委託し、農福連携にも取り組む。



### 有機農業と農福連携の可能性

有機農業と農福連携は切り離せない関係だと思っています。耕作放棄地を再生して、機械が入りにくい斜面や狭い畑など“人の手が必要な場所”で、障害のある方にも活躍してもらっています。除草や収穫、パッキングといった作業は細かく分けて、その人の特性に合う工程を担当してもらい、“人に仕事を合わせる”ことを大切にしています。

株式会社アグリーンハート／代表取締役 佐藤拓郎氏

## 有機農業における障害者の活躍

地域の障害者就労施設（就労継続支援B型事業所など）にお願いしている作業

- 中山間地での有機農作物に関する作業（田んぼの除草作業、にんにくの収穫や植付け）
- 有機栽培米の袋詰め、計量、パッキング作業



## 株式会社アグリーンハートの価値創出に向けた取組

### ●各種認証の取得

2017年GLOBAL G.A.P.、2018年有機JAS、2019年ノウフクJASを取得。客観的な信頼性の高い生産体制を確立して。

### ●スマート農業技術の活用による生産性の向上

有機農業の現場でドローンを活用した直播やピンポイント除草剤散布などにより、高精度な生産管理を行う。技術を人に置き換えるものではなく、人を支えるものとして活用している。

### ●取引から取組へ 共感でつながる農業

価格競争から脱却し、理念に共感する企業や個人と共に取り組むBusiness to Fanの考え方を重視。環境保全や地域課題、農福連携の取組を共有し、購入者自身の社会的意義を持った消費行動に参加できる仕組みを築くことで高付加価値の生産を可能にしている。



田んぼでの除草作業

田んぼオーナー制度を取り入れ消費行動に社会的意義を持たせる仕組みを築く